

特定非営利活動法人 不忘アザレア

2022-2023 シーズン 安全報告書

① ご挨拶

今シーズンも、みやぎ蔵王白石スキー場をご利用いただき誠にありがとうございました。今シーズンも新型コロナウイルス感染症予防対策として検温、手指消毒、パーティションの設置や職員の健康管理の徹底を図りシーズンを迎えることができました。今シーズンは雪に恵まれたオープンでしたが、2月後半から高気温での雪解けが早く進み、3月12日で営業を終了しました。今シーズンも事故など無く営業できましたのも、これもひとえに利用者の皆さまのご協力のおかげと感謝申し上げます。

今後も、事故やインシデントが起きないように索道の保守管理の徹底と係員の教育訓練を繰り返し行ってまいりたいと思っております。

みやぎ蔵王白石スキー場で働くすべての職員及び理事は同じ安全意識を持ち、スキーヤーの皆様に楽しんでいただけるスキー場作りにまい進いたします。

来シーズンも多くのお客様にみやぎ蔵王白石スキー場で楽しんで頂ければ幸いです。

特定非営利活動法人 不忘アザレア

理事長 佐々木 徹



②安全方針について

もとより白石スキー場でも安全に関する規定はありましたが、平成18年10月1日の鉄道事業法の改正を受け、安全に対する意識をより高める意味から「安全管理規定」を作成し運用しています。

「輸送の安全を確保するための基本理念」

- 1.一致協力して積極的に安全運行に取り組みます。
- 2.「運転取扱細則」・「係員服務規程」等、法令及び規定をよく理解するよう努め、誠実に職務を遂行します。
- 3.職務の遂行にあたり、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- 4.事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに「緊急体制要領」に基づき、適切な処置をとります。
- 5.常に問題意識を持ち、情報は漏れなく迅速・正確に伝え、透明性を確保します。

上記の基本理念を実行するため、安全輸送の管理体制や索道施設の保守及び運行の管理の方法を作成し安全管理規定に記しております。これらはすべて利用者の安全を確保するものであると同時に、私達働く側も安全な作業を行うための大切な規定なのです。

③事故等の発生状況

1. 2021-2022シーズンの索道事故の発生はありませんでした。
2. 2021-2022シーズンのインシデントの発生はありませんでした。
3. 2022.3月16日福島県沖地震での索道への被害はありませんでした。
4. 2022-2023シーズンの索道事故の発生はありませんでした。

④安全に対する取り組み

1) 教育・訓練

シーズン前に、理事会及び白石スキー場従事員研修において「不忘アザレア安全管理規定」を説明し、輸送の安全の確保に必要な事業の実施と管理を行っております。

*スキー場オープン前に全職員（職員・期間雇用者）及びアルバイトに安全研修会及び救助訓練を実施、不忘アザレア安全管理規定他を説明しました。

*始業前に毎朝ミーティングを行い、気象状況からリフトの状態・人員配置の確認及び安全に関する情報の交換等を行い、各担当リフトの始業点検を行いました。

*シーズン中、理事長及び理事による巡回点検を行い、各リフトの安全確認及び状況を点検しました。

シーズン前の安全教育だけに留まらず、シーズン中もスキークラブと合同で救助訓練を実施します。

(索道研修会の様子)

(救助訓練の様子)



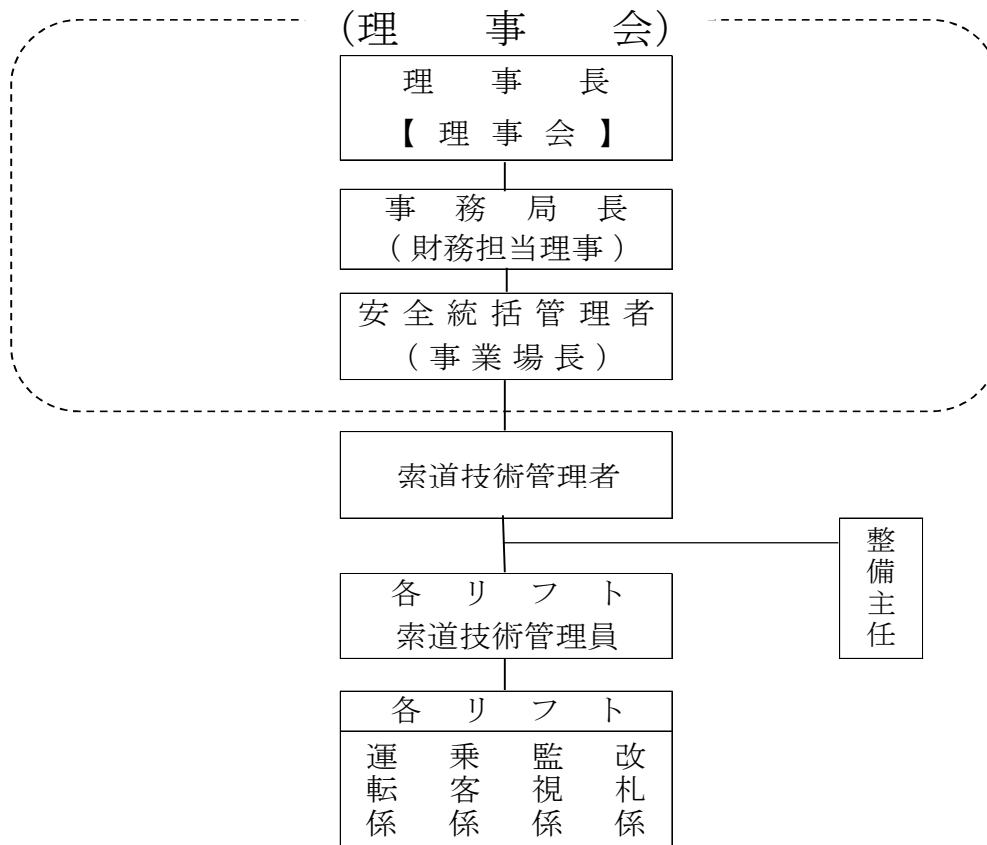
2) 整備

- | | |
|---------|--------------------------|
| 第2リフト | 非常ブレーキパット交換、原動機ブラシ交換 |
| 第3リフト | 降り場転落防止ネットフレーム修理・補強、索輪交換 |
| クワッドリフト | 降り場緑化 |

安全に関する組織体制

白石スキー場では、理事長から各リフト係員まで積極的に安全運行に取り組むため安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

白石スキー場の特殊索道に関する組織体制図



理 事 長 【 理 事 会 】	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
事 務 局 長 【 財 務 担 当 理 事 】	輸送の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する業務を統括する。
安 全 統 括 管 理 者 【 事 業 場 長 】	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索 道 技 術 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索 道 技 術 管 理 員	索道技術管理者の職務を補佐する。